

2021年5月6日

第34回「京都美術文化賞」 受賞者決定について

このたび、公益財団法人 中信美術奨励基金（理事長 白波瀬 誠）では、財団の顕彰事業である第34回「京都美術文化賞」の受賞者を決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 第34回「京都美術文化賞」受賞者・受賞理由

大野 俊明（おおの としあき・72歳）日本画

長年に亘り堅実な仕事をしており、京都の伝統的な線が描ける作家として評価されている。

児玉 靖枝（こだま やすえ・60歳）絵画

具象も抽象も描くことができ、優れた作品を発表し続けている。

高橋 匡太（たかはし きょうた・50歳）現代美術

京都市京セラ美術館のオープニングの照明をはじめとして活躍が目立つ。

2. 贈呈式

新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、関係する皆さまの健康と安全を考慮し、後日開催時期を決定いたします。

3. 京都美術文化賞について

美術の創作活動を通じて京都府市民の精神文化向上に多大の功績があった方に、「京都美術文化賞」として賞牌と賞金1人金200万円を贈呈し、創作活動を奨励しています。

1988年5月の第1回に始まり、今回で第34回目の贈呈となりました。

(1) 選考委員(敬称略)

太田 垣 實 (美術評論家)

潮江 宏 三 (京都市立芸術大学名誉教授)

篠原 資 明 (京都大学名誉教授)

柳原 正 樹 (京都国立近代美術館館長)

冷泉 為 人 (公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長)

(2) 受賞記念展の開催

2022年1月開催予定

於:京都文化博物館

(3) 過去の受賞者 (別紙一覧参照)

・受賞者総数 102名(今回を含む)

絵画 37名 (日本画19名 洋画12名 版画6名)

彫刻 13名

工芸 37名 (染織13名 陶芸17名 漆芸3名 截金1名 截金ガラス1名
人形1名 ガラス造形1名)

その他 15名 (写真3名 ファイバーアート4名 マルチメディアアート1名
現代美術6名 花人1名)

・受賞後の活躍

第1回受賞の秋野 不矩氏は1999年度文化勲章受章

第7回受賞の黒崎 彰氏は2008瑞宝中綬章受章

第9回受賞の岩倉 寿氏は2006年芸術院会員に選出

第9回受賞の木村 光佑氏は2012年瑞宝中綬章受章

第13回受賞の江里 佐代子氏は2002年当時史上最年少で人間国宝に認定

第19回受賞の宮瀬 富之氏は2009年日本芸術院賞を受賞

第24回受賞の森村 泰昌氏は2011年紫綬褒章受章

など、受賞後の活躍はめざましいものがある。

(4) 「京都美術文化賞」の意義

伝統ある京都の芸術を発展させ、京都からすばらしい芸術家を誕生させる刺激になっています。美術関係者からは、この賞の足跡について「京都の優れた芸術が集まり、京都の美術界の流れをあらわしていて意義深い」と評価いただいています。

5. 公益財団法人 中信美術奨励基金について

京都中央信用金庫の預金量一兆円達成(1986年11月)を記念して、1987年4月1日に設立しました。京都府下における美術の創作活動を奨励し、伝統的文化の継承発展並びに京都府・市民の精神文化向上に寄与することを目的としています。2011年4月1日より公益財団法人に移行しました。2019年京都市芸術振興賞を受賞いたしました。

以上

☆本件に関するお問い合わせは、京都中央信用金庫 On Your Side 事業部
(TEL075-223-8385 FAX075-223-2563) までお願い申し上げます。

第34回京都美術文化賞受賞者略歴（敬称略）

大野 俊明（おおの としあき） 日本画 72歳

1948年京都市生まれ。'71年京都市立芸術大学美術学部日本画科卒業、'73年京都市立芸術大学美術専攻科日本画専攻修了。'72年より京都・二条城二の丸御殿障壁画模写事業に参加し、現在に至るまで古面の模写に尽力している。成安造形大学名誉教授・同客員教授、京都日本画家協会会員。

展覧会：'84年～'93年「横の会展」（京都市美術館）、'95年個展「流れ行く時の風—古典から現代まで—」（高島屋／ニューヨーク）、'02年個展「京・近江—流れ行く風—」（高島屋／京都 他）、'04年「日本画 京の今日展」（京都文化博物館）、'08年個展「山河行く風」（高島屋／京都 他）、'09年～'13年「京都日本画新展」（美術館「えき」KYOTO）、'13年「日本画 ころこの京都展」（京都文化博物館）、'14年～'18年「続 京都日本画新展」（美術館「えき」KYOTO）、'15年「京に生きる琳派の美展」（京都文化博物館 他）、'20年「京都市立芸術大学退任記念展—京都芸大と私たち」（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA）など多数。

受賞：'87年第9回山種美術館賞展優秀賞、'91年タカシマヤ文化基金第1回新鋭作家奨励賞、'93年京都市芸術新人賞、'17年京都市芸術振興賞など。

代表作：「東風」（'87年）、「清隅の」（'96年）、「銀嶺」（'04年）など。



児玉 靖枝（こだま やすえ） 絵画 60歳

1961年神戸市生まれ。'86年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了。80年代前半、何の変哲もない石やガラス瓶などをモチーフに「ものがあるということ」を手掛かりに精緻な描写によって存在を捕らえることから絵画の世界に入る。90年代は具象から離れ、絵画の可能性を探求するためにシンプルな色彩と身体性を伴うストロークによる抽象絵画を展開。近年は日常の中で感受する非日常的な光景をモチーフとし、具象のなかの抽象性を際立たせることで存在の気配を喚起させる絵画を描きながら〈まなざし〉を問う試みを続けている。京都市立芸術大学美術学部特任教授。

展覧会：'12年「新インキュベーションIVゆらめきとけゆく—児玉靖枝×中西哲治」（京都芸術センター）、'15年個展「深韻—花違え」（アーツスペース虹／京都）、'16年個展「深韻—白」（MEM／東京 他）、'18年「モネ—それからの100年」（名古屋市美術館 他）、'19年「みつめる—見ることの不思議と向き合う作家たち」（群馬県立館林美術館）、'20年個展「asile」（O gallery eyes／大阪 他）、「それぞれのながめ」（徳島県立近代美術館）など多数。

受賞：'99年第17回京都府文化賞奨励賞、'05年兵庫県芸術奨励賞受賞、'10年亀高文子記念—赤艸社賞など。

代表作：「ambient light-sakura」（'02年）、「深韻—雨二・四・三」（'10年）、「asile-white splash 10」（'20年）など。



高橋 匡太（たかはし きょうた）現代美術 50歳

1970年京都生まれ。'95年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。光や映像によるパブリックプロジェクト、インスタレーション、パフォーマンス公演など幅広く国内外で活動を行っている。京都市京セラ美術館、東京駅100周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物へのライティングプロジェクトは、ダイナミックで造形的な光の作品を創り出す。多くの人とともに作る「夢のたね」、「ひかりの実」、「ひかりの花畑」など大規模な参加型アートプロジェクトも数多く手がけている。

パブリックプロジェクト&ライティングワーク：'03年「築城400年記念二条城ライトアップ」（元離宮二条城／京都）、'11年「第26回国民文化祭・京都2011総合開会式オープニングフェスティバル芸術監督」（国立京都国際会議場）、'15年～'19年「くすのき並木ライトアップ」（京都府立植物園）、'17年「超京都2017光の現代美」（旧三井家下鴨別邸／京都）、'19年～'20年「四条洛中洛外雲海図」四条反映会年末年始装飾（四条通／京都）、'21年「岡崎宵かさね」（京都国立近代美術館 他）など多数。

受賞：'08年京都府文化賞奨励賞、'10年京都市芸術新人賞、'20年第30回日本建築美術工芸協会賞（AACAA賞）、'21年照明学会照明普及賞など。

代表作：「ひかりの実」（'11年～現在）、「光り織」越後妻有文化ホール・ファサード照明作品（'17年）、「京都市京セラ美術館ファサード照明デザイン、演出」（'20年）など。



京 都 美 術 文 化 賞 受 賞 者

※は故人

第1回(1988年5月)	※秋野 不矩(日本画)	※小牧 源太郎(洋画)	坪井 明日香(陶芸)
第2回(1989年5月)	※麻田 浩(洋画)	小清水 漸(彫刻)	※伊砂 利彦(染色)
第3回(1990年5月)	※中野 弘彦(日本画)	※三尾 公三(洋画)	※藤平 伸(陶芸)
第4回(1991年5月)	竹内 浩一(日本画)	井田 彪(彫刻)	樂 吉左衛門(陶芸)
第5回(1992年5月)	※吉原 英雄(版画)	※野崎 一良(彫刻)	※南 祥輝(漆芸)
第6回(1993年5月)	中野 嘉之(日本画)	内田 晴之(彫刻)	面屋 庄甫(人形)
第7回(1994年5月)	※黒崎 彰(版画)	※鈴木 治(陶芸)	※来野 月乙(染色)
第8回(1995年5月)	※下村 良之介(日本画)	※番浦 有爾(彫刻)	深見 陶治(陶芸)
第9回(1996年5月)	※岩倉 寿(日本画)	木村 光佑(版画)	※富樫 実(彫刻)
第10回(1997年5月)	※下保 昭(日本画)	※齋藤 眞成(洋画)	※西嶋 武司(染色)
第11回(1998年5月)	※芝田 耕(洋画)	※山田 光(陶芸)	澁谷 和子(染色)
第12回(1999年5月)	※小嶋 悠司(日本画)	林 康夫(陶芸)	※服部 峻昇(漆芸)
第13回(2000年5月)	※堂本 元次(日本画)	※井上 隆雄(写真)	※江里 佐代子(截金)
第14回(2001年5月)	※渡辺 恂三(洋画)	木代 喜司(彫刻)	福本 繁樹(染色)
第15回(2002年5月)	※岩本 和夫(日本画)	小林 陸一郎(彫刻)	※栗木 達介(陶芸)
第16回(2003年5月)	※森本 勇(洋画)	竹内 三雄(彫刻)	河田 孝郎(染色)
第17回(2004年6月)	加藤 明子(洋画)	※木田 安彦(版画)	林 秀行(陶芸)
第18回(2005年6月)	吉川 弘(日本画)	柳原 睦夫(陶芸)	望月 玉船(漆芸)
第19回(2006年6月)	西野 陽一(日本画)	宮瀬 富之(彫刻)	上野 真知子 (ファイバーアート)
第20回(2007年6月)	※入江 酉一郎(日本画)	平岡 靖弘(洋画)	井隼 慶人(染色)
第21回(2008年6月)	木村 秀樹(版画)	秋山 陽(陶芸)	松本 ヒデオ(陶芸)
第22回(2009年6月)	三橋 遵(染色)	八木 明(陶芸)	甲斐 扶佐義(写真)
第23回(2010年6月)	西久松 吉雄(日本画)	野村 仁 (マルチメディア・アート)	田島 征彦(染色)
第24回(2011年6月)	山本 容子(版画)	小林 尚美 (ファイバーアート)	森村 泰昌(現代美術)
第25回(2012年5月)	川村 悦子(洋画)	福本 潮子(染色)	伊部 京子(ファイバーアート)
第26回(2013年5月)	麻田 脩二(染色)	清水 六兵衛(陶芸)	川瀬 敏郎(花人)
第27回(2014年5月)	畠中 光享(日本画)	西野 康造(彫刻)	生田 丹代子(ガラス造形)
第28回(2015年5月)	浅野 均(日本画)	今村 源(彫刻)	久保田 繁雄(ファイバーアート)
第29回(2016年5月)	森田 りえ子(日本画)	松井 利夫(陶芸)	ヤノベ ケンジ(現代美術)
第30回(2017年5月)	箱崎 睦昌(日本画)	山部 泰司(洋画)	やなぎ みわ(現代美術)
第31回(2018年5月)	小名木 陽一(織)	重松 あゆみ(陶芸)	鈴鹿 芳康(写真造形)
第32回(2019年5月)	名和 晃平(彫刻)	八幡 はるみ(染)	柏原 えつとむ(現代美術)
第33回(2020年11月)	近藤 高弘(陶芸)	山本 茜(截金ガラス)	宮永 愛子(現代美術)
第34回(2021年5月)	大野 俊明(日本画)	児玉 靖枝(洋画)	高橋 匡太(現代美術)

絵画 37名 (日本画19名 洋画12名 版画6名)

彫刻 13名

工芸 37名 (染織13名 陶芸17名 漆芸3名 截金1名 截金ガラス1名 人形1名 ガラス1名)

その他 15名 (写真3名 ファイバーアート4名 マルチメディアアート1名 花人1名

現代美術6名)

計 102名